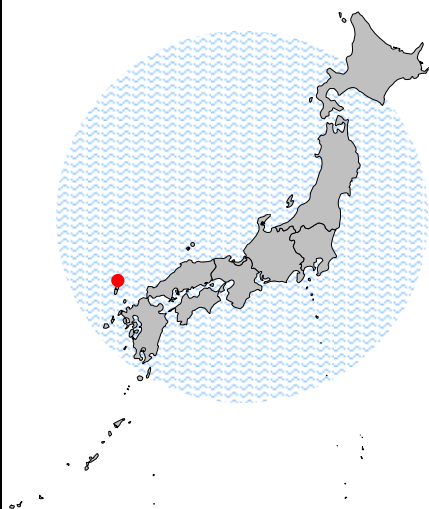


海照らし「ヒトツバタゴ」と鰐浦地区

対馬島（つしまじま）



【場所】長崎県対馬市
鰐浦



島の人口: 38,301人
島の面積: 696.29 km²
(平成17年国調)

ヒトツバタゴはモクセイ科の大陸系植物で、古代より大陸への窓口であった対馬を象徴する植物として、対馬市の木に指定されています。対馬北部の鰐浦地区は、国内最大の自生地であり、この希少な樹木を集落のシンボルとして、保護、増殖などの取り組みを行っています。5月になると、3000本といわれるヒトツバタゴが一斉に白い花を咲かせ、地元の人々や観光客の目を楽しませてくれます。波の穏やかな日には、山を白く彩るヒトツバタゴの花の影が海面を白く染めることから、「海照らし」の別名で呼ばれています。

写真上：波が穏やかな日は、海面にヒトツバタゴが白く映える

写真右：気象条件がよければ、鰐浦地区の韓国展望所から釜山を望める



問い合わせ先：国土交通省都市・地域整備局離島振興課

〒100-8918 東京都千代田区霞が関 2-1-3

TEL 代表 03-5253-8111(内 33-144) 直通 03-5253-8421